

# ミニデイサービス便り

## 新春事始め

### 小倉百人一首とラデツキー行進曲

新しい年を迎え、ミニデイサービスまごころでも新春事始め、新しい2つのことに挑戦しました。ひとつは、初めて小倉百人一首の“かるた”とり。もう一つは、元旦から話題をさらった、日本人で初めてという小沢征爾指揮するウインフィル・ニューイヤーコンサートでの最後のアンコール曲“ラデツキー行進曲”をまごころ楽団で演奏することでした。

●まず、初めての百人一首は、かるたを3セット用意し、3テーブルで開始。

全くやられたことがない方。何十年振りという方。坊主めぐりぐらにはある方など様々。

小倉百人一首の説明からはじまったこの“かるた”とり。思いもかけないリハビリ効用となりました。

大きな声でまず上の句を読み上げている最中から、みなさん聴き耳立てて、目も手も、口も全部が緊張して、集中して五感が働いているのがよく分かる。

下の句に入ると、体が前傾姿勢に、口が動き、手は右上頭のあたりまであがり、さらに他の人の顔の前あたりで横に振りながら、目は必死にかるたの字を追っている。

「けふこえて、こんでいいの」「それ違うがね。雪がふりつつじゃなくて、露にぬれつつだっ」

ギター伴奏のボランティアさん、ピアノ伴奏のボランティアさんも楽器そっちのけ、一緒に仲間。緊張の中にも笑い声が絶えない。

それぞれの個性が出て、なかなかいい遊ビリテーションになりました。

●新春事始めのもう一つの取り組みの「ラデツキー行進曲」。

元旦、音楽の殿堂、ウイーン楽友協会からの中継テレビでこれを聴きながら、まごころミニデイもこれにあやかろうと決めたのでした。皆さんの顔が浮かび、このリズムなら全員ついていけると思った。

予想どおり、目の前の楽器で好きなように合わせてもらったが、実にお見事でした。今年も元気でよろしく！

平成14年2月のミニデイサービス

保育園 2月14・28日 事務所 2月7・16・21日

# リズムでリハビリ講座開催

## 音楽で元気に！

とき・・・平成14年2月22日（金）午後1時～3時  
 ところ・・・一宮スポーツ文化センター研修室  
 内容・・・2時間で音楽大好きになります  
 講師・・・鳥居小百合氏  
 愛知県立木曾川高校ブラスバンド部講師  
 一宮市消防音楽隊囃託

利用会員の皆様、ミニデイ利用の皆様、市民の皆様  
**みんなお出掛けください**



## ケアをご利用の皆様へ

### ケア料領収書の印刷印について

当会はパソコンから領収書を出しており、領収印をパソコン内に組み込んでいるため黒く印刷された状態が出てまいります。しかし、これは領収書としての効力は何ら変わることはございません。このことは、一宮税務署に確認しておりますので、安心して領収書としてご利用ください。

### 2月の予定

1日（金）	会報「まごころ」	発行
2日（土）	ボランティア会議	（所・事務所）
3日（日）	定例会・臨時総会	
4日（月）	コーディネーター会議 - 設ボランティア	岩本、大塚
7日（木）	ミニデイサービス - 設ボランティア	（所・事務所） 宮田、大塚、藤
13日（水）	ミニデイ委員会	
14日（木）	ミニデイサービス - 設ボランティア 運営委員会	（所・保館） 石原、中
16日（土）	ミニデイサービス	（所・事務所）
18日（月）	コーディネーター会議 - 設ボランティア	谷、小林
19日（火）	市議会議員選挙 自立支援教室	（所・スボ）
20日（水）	堀田力 講演会	（所・スボ）
21日（木）	ミニデイサービス、ミニデイ検閲 - 設ボランティア	（所・事務所） 大塚、大塚
22日（金）	市議会議員選挙 自立支援教室	（所・スボ）
25日（月）	コーディネーター会議 - 設ボランティア	岩田、山田
27日（水）	ミニデイ委員会	
28日（木）	ミニデイサービス - 設ボランティア	（所・保館） 倉田、鈴木

理事会

介護保険で受けたサービスが医療費控除の対象に  
 2月の確定申告に  
 医療費控除の対象となる介護保険サービスは  
 訪問看護／訪問リハビリ／居宅療養管理指導／  
 デイケア／短期入所療養介護（老健・介護のショートステイ）  
 但し、家事援助を除く訪問介護、訪問入浴、  
 デイサービス、短期入所生活介護（特養のショート  
 ステイ）は右記と併用した場合のみ対象に



3月の定例会は  
 3月3日（日）事務所 9時30分～12時30分  
 ◆定例会 9時30分～10時30分  
 ◆ケア検討会 10時30分～12時30分  
 この日の午前のケアはお休みです  
 利用者さんよろしくお見送り致します

# ある外科医の独り言

すばらしい忘年会 高 勝義

昨年12月31日に生涯で一番感激した忘年会を催すことが出来た。山下病院外科のスタッフとスタッフであった若い医師たち12名が、一宮の某所に集まってくれたのである。

フグをたらふく食べ、堪能するまでひれ酒を飲み、そして昔を今を語り合った。私が山下に来た時、常勤は今では亡き毛受先生と私の二人だけであった。一宮の小さな病院へは人を派遣してくれないために、大学からアルバイトの先生の応援を受け、何とか手術を行っていたのである。その内に病院の業績が認められ、大学から一人そして又一人と若い医者への派遣を受けることが出来るようになった。当時私はまだ若く、鬼軍曹のあだ名のごとく、若い医者をしごきまくったのである。医者に失敗は許されず、私の知る限りの技術を伝授したつもりであった。後から知ったのであるが、時に涙をこらえて手術の指導に耐えていた者も居たらしい。

外科の手術手技は大工さんと同じようなもので、技術を教え教えられ、そして学ばなければ決してうまくはならないのである。手術が上手いか下手かは人の命に影響を及ぼすところが大工さんと違うのである。1年半から2年を山下で過ごしてから大学に帰り、博士号をとり、そして色々な病院で働いている若者たちもおれば、大きな病院で中堅の医師として立派に活躍している医師もいる。幾分お世辞が入っているとはいえ、鬼軍曹としてしごきまくった事が大変役立っていることを知らされた。

山下で働いた医師たちが、他のところで誰にも負けず立派に手術をしているのを知って、これほど幸せに思ったことはない。私も今年で60才。気力も体力も衰えつつあるが、まだまだ若い人たちの教育をしながら、自分の医師としての力を蓄えなくてはと思うのである。自分の知識と技術を若い人に伝えることによって、多くの病める人々がよい治療を受けられるようになることは、私の医者としての人生の中で最上の喜びなのである。

（山下病院 院長）



在宅活動件数	15件
活動人数	17人
活動時間	176.5時間
ミニデイサービス利用者	50人
移送サービス利用件数	42件

訪問件数	54件
家事	474.5時間
複合型	262時間
身体	266時間
合計	1002.5時間

協力会員	45人
利用会員	62人
賛助会員	117人
計	224人

中日新聞一月二十七日中日歌壇から  
 また、当会の会員さんお二人が、  
 中日歌壇に選ばれ、掲載されました  
 ので紹介します。

こんな時酒が飲めたらと思ひしは幾度なり  
 りしか八十路となりぬ  
 （一宮市） 堀場 笑子

もっと速く歩きたからむ柴犬は腰の曲がり  
 りし主に従きゆく  
 （一宮市） 築城 基裕